

# 中小企業景況調査報告書

令和5年10～12月期実績  
令和6年1～3月期見通し






鹿児島県商工会連合会

(令和5年12月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等地域の経済動向について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集して、全国商工会連合会と連携し、全国一斉に実施しているものです。






















この報告書の中で、用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値で企業経営者の景気動向を表す指数として利用されています。

## 〈お天気マークの説明〉

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9～ +10.0	 まあまあ +9.9～ ▲9.9	 不振 ▲10.0～ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
---	---	---	---	--

- 調査対象期間 令和5年10～12月期を対象とし、調査時点は令和5年11月15日とした。  
令和6年1～3月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 かごしま市・南九州市・さつま町・鶴の町・始良市・湧水町・霧島市  
志布志市・大崎町・垂水市・錦江町・西之表市・あまみ・徳之島町
- 回答企業 対象企業 206業  
製造業：44企業 建設業：30企業 小売業：57企業 サービス業：75企業

## 県内産業別業況DI

	製造業	建設業	小売業	サービス業
4年10月～12月期	 ▲11.4	 ▲3.3	 ▲23.7	 ▲14.3
5年1月～3月期	 ▲7.0	 ▲16.7	 ▲25.9	 ▲24.7
5年4月～6月期	 ▲2.3	 6.7	 ▲5.2	 3.9
5年7月～9月期	 ▲9.3	 6.7	 ▲25.9	 ▲6.7
5年10月～12月期	 ▲4.6	 23.3	 ▲19.3	 ▲4.1
来期見通し(1～3月期)	 ▲4.5	 3.3	 ▲21.0	 ▲8.1

## 総合(業況)

前年同期(令和4年10月～12月期)と比較した今期(令和5年10月～12月期)の業況は、製造業▲4.6(前年同期比6.8ポイント改善)、建設業23.3(前年同期比26.6ポイント改善)、小売業▲19.3(前年同期比4.4ポイント改善)、サービス業▲4.1(前年同期比10.2ポイント改善)となった。

今期については、前年同期と比較すると、コロナ禍前の秋のイベントも復活し、鹿児島県としては国体もあり、全ての業種において改善となった。特に建設業においては、材料価格の上昇等により完成工事額は、前年同期と比較して23.4ポイント改善し、大幅に工事額が上がっていることが伺える。

また前期(令和5年7月～9月期)と比較すると、製造業4.7ポイント、建設業16.6ポイント、小売業6.6ポイント、サービス業2.6ポイント改善となったものの、価格転嫁できた企業にとっては、需要の停滞や大型店(他店)等のへ流出が経営の問題となっている。

なお、来期(令和6年1月～3月期)の見通し(DI)は、今期と比較すると、製造業0.1ポイント改善・建設業20.0ポイント悪化、小売業1.7ポイント悪化、サービス業は4.0ポイント悪化の見通しとなり令和6年1月からの電子帳簿保存法の改正による対応など経費増額や事務負担が懸念される。

# 業種別景気動向

## 【製造業】 有効回答数 44 企業

調査対象企業内訳：食料品(21)、飲料・飼料・たばこ(6)、一般機械器具(2)、家具・装備品(2)、木材・木製品(3)、プラスチック製品(1)、印刷・同関連(4)、金属製品(3) 窯業・土石製品(1)、その他(1)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
4年10月～12月期		4.6		▲6.9		▲9.1		▲11.4
5年1月～3月期		▲6.8		▲25.0		▲9.3		▲7.0
5年4月～6月期		18.2		▲15.9		▲2.3		▲2.3
5年7月～9月期		13.9		▲7.0		0.0		▲9.3
<b>5年10月～12月期</b>		<b>6.8</b>		<b>▲22.7</b>		<b>▲4.6</b>		<b>▲4.6</b>
来期見通し(1～3月期)		0.0		▲18.2		▲9.3		▲4.5

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・働き方改革・人件費・原材料費高騰・従業員高齢化など課題が多く、なかなか難しい状況が続いており、海外への挑戦が難しい。省力化による工夫が必要である。(めん類製造業)
- ・インボイスの影響が10月頃から受注が低調である。その一方で、材料代や諸経費が高騰して厳しい経営状況である。(木製家具製造業)
- ・物価高騰により紙製品の価格が上昇しており今後の販売価格の再検討も視野に入れている。設備も老朽化しており外注に出すことも多く利益率が減少している状況である。(印刷業)

### 経営上の問題点

第1位 原材料価格の上昇	35.1%	(前期比 -22.4)
第2位 需要の停滞	13.5%	(前期比 +6.0)
第3位 製品ニーズの変化	8.1%	(前期比 +0.6)

## 【建設業】 有効回答数 30 企業

調査対象企業内訳：総合工事業(21)、職別工事業(5)、設備工事業(4)

	完成工事額		採算		資金繰り		業況	
4年10月～12月期		6.6		▲16.7		▲10.0		▲3.3
5年1月～3月期		▲13.4		▲36.6		▲13.3		▲16.7
5年4月～6月期		10.0		▲13.4		6.6		6.7
5年7月～9月期		24.1		▲6.6		3.4		6.7
<b>5年10月～12月期</b>		<b>30.0</b>		<b>0.0</b>		<b>3.3</b>		<b>23.3</b>
来期見通し(1～3月期)		30.0		0.0		13.3		3.3

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・人手不足解消の為、在職者賃金引上げ、休暇取得促進、所定労働時間削減等に取組んできたが、材料価格や下請け単価の上昇や入札競争の激化の受注難で、経営環境は悪化している。(一般建築土木工事業)
- ・材料価格の上昇が大きく見積もり時と請求時の金額が大幅に変わる場合があるため、難しい状況にある。(一般建築土木工事業)
- ・昨年の台風災害による生産中の植木が壊滅したことにより出荷できる商品がなく経営を圧迫している。(造園工事業)

### 経営上の問題点

第1位 材料価格の上昇	56.0%	(前期比 +6.0)
第2位 熟練技術者の確保難	16.0%	(前期比 +12.4)
第3位 官公需要の停滞	12.0%	(前期比 +4.9)
第3位 従業員の確保難	12.0%	(前期比 -9.4)

## 【小売業】 有効回答数 57 企業

調査対象企業内訳：飲食料品(24)、各種商品(2)、織物・衣服・身の回り品(6)、家具・建具(5)  
自動車・自転車小売業(1)、その他(19)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
4年10月～12月期		▲20.4		▲28.8		▲18.6		▲23.7
5年1月～3月期		▲11.9		▲33.9		▲18.6		▲25.9
5年4月～6月期		▲5.2		▲20.7		▲15.6		▲5.2
5年7月～9月期		▲12.0		▲39.7		▲20.7		▲25.9
<b>5年10月～12月期</b>		<b>▲8.8</b>		<b>▲31.6</b>		<b>▲24.6</b>		<b>▲19.3</b>
来期見通し(1～3月期)		▲19.3		▲24.6		▲15.8		▲21.0

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・昨年より9月・10月と夏が多く、かなり暖かかった為秋物の動きが悪い。また物価高騰の流れから衣料品全体として手控えている感じがある。(衣類・身の回り品小売業)
- ・物価高騰の影響を受け、大型店の安価な商品を買われるお客様が増えたように思う。(食肉小売業)
- ・業況は好転しているが、11月から航空の便数が減ったことに伴い、客足が減っている。今後の売上にも影響があると思われる。(その他小売業)

### 経営上の問題点

- 第1位 仕入単価の上昇 36.7% (前期比 -5.3)
- 第2位 大型店・中型店の進出による競争の激化 12.2% (前期比 +2.2)
- 第3位 需要の停滞 10.2% (前期比 +4.2)
- 第3位 購買力の他地域への流出 10.2% (前期比 +2.2)

## 【サービス業】 有効回答数 75 企業

調査対象企業内訳：洗濯・理美容業(19)、飲食店(24)、自動車整備業(10)、宿泊業(8)  
運送業(2)、その他(12)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
4年10月～12月期		▲6.5		▲36.4		▲13.1		▲14.3
5年1月～3月期		▲16.9		▲37.7		▲20.8		▲24.7
5年4月～6月期		18.5		▲22.3		▲1.4		3.9
5年7月～9月期		10.6		▲12.0		▲13.4		▲6.7
<b>5年10月～12月期</b>		<b>6.7</b>		<b>▲6.7</b>		<b>▲9.3</b>		<b>▲4.1</b>
来期見通し(1～3月期)		6.6		▲10.7		▲5.3		▲8.1

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・客足は戻りつつあり、宴会などの需要も増えてきているが、食材の仕入れ単価の高騰、経費増により、利益率はさほど上がっていない状況。(食堂・レストラン)
- ・コロナ禍で個人客ばかり対応していたが、いよいよコロナ禍前に戻りつつあると手ごたえが見えてきた。11月・12月は閑散期なので一旦は落ち着くが、新年以降、団体の受け入れ準備をしなければならない。(簡易宿泊所)
- ・コロナが一段落して半年経ったが、来客の回復には至っていない。ドライクリーニング溶剤などには国の補助がない為、仕入れが爆上がりしている。これらも補助対象にしてほしい。(普通洗濯業)

### 経営上の問題点

- 第1位 材料等仕入単価の上昇 41.8% (前期比 -3.8)
- 第2位 店舗施設の狭隘・老朽化 11.9% (前期比 +4.5)
- 第3位 従業員の確保難 10.4% (前期比 +1.6)

# 全産業【鹿児島県】

2023年10月期～12月期

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	206	31.1	43.7	25.2	5.8	206	21.4	58.7	19.9	1.5
売上（加工）単価・客単価	175	18.9	66.9	14.3	4.6	175	14.9	73.7	11.4	3.4
売上（加工）数量	44	27.3	47.7	25.0	2.3	44	11.4	72.7	15.9	-4.5
客数	57	14.0	49.1	36.8	-22.8	57	8.8	61.4	29.8	-21.1
利用客数	75	26.7	50.7	22.7	4.0	75	25.3	56.0	18.7	6.7
資金繰り	205	6.8	75.6	17.6	-10.7	205	7.8	78.0	14.1	-6.3
輸出額	17	11.8	64.7	23.5	-11.8	17	11.8	76.5	11.8	0.0
受注（新規契約工事）額	30	43.3	43.3	13.3	30.0	30	23.3	66.7	10.0	13.3
原材料・商品等仕入れ単価	206	77.7	21.4	1.0	76.7	206	58.3	39.8	1.9	56.3
原材料在庫数量	44	2.3	84.1	13.6	-11.4	44	6.8	84.1	9.1	-2.3
商品仕入数量	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
商品仕入額	57	47.4	38.6	14.0	33.3	57	33.3	52.6	14.0	19.3
商品・商品在庫数量	101	5.0	77.2	17.8	-12.9	101	4.0	82.2	13.9	-9.9
採算（経常利益）	206	12.1	59.7	28.2	-16.0	206	7.3	70.9	21.8	-14.6
従業員（含臨時・パート）	168	7.1	83.9	8.9	-1.8	168	3.6	70.2	5.4	-1.8
外部人材（請負・派遣）	91	5.5	89.0	5.5	0.0	91	5.5	87.9	6.6	-1.1
設備操業率	43	0.0	90.7	9.3	-9.3	43	2.3	88.4	9.3	-7.0
引合	71	15.5	73.2	11.3	4.2					0.0
受注・契約残	72	8.3	81.9	9.7	-1.4					0.0
業況（自社）	205	16.6	62.4	21.0	-4.4	205	8.8	73.2	18.0	-9.3

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	206	24.8	49.5	25.7	-1.0					
売上（加工）単価・客単価	175	20.0	69.1	10.9	9.1					
売上（加工）数量	44	25.0	54.5	20.5	4.5					
客数	57	12.3	54.4	33.3	-21.1					
利用客数	75	24.0	60.0	16.0	8.0					
資金繰り	205	7.8	78.0	14.1	-6.3					
業況（自社）	205	12.7	71.2	16.1	-3.4	205	7.8	75.6	16.6	-8.8
受取手形期間	42	0.0	95.2	4.8	-4.8	42	0.0	97.6	2.4	-2.4
長期資金借入難度	162	4.3	88.3	7.4	-3.1	162	4.3	87.0	8.6	-4.3
短期資金借入難度（含手形割引）	147	4.1	90.5	5.4	-1.4	147	4.8	87.8	7.5	-2.7
借入金利	165	4.8	92.1	3.0	1.8	165	3.0	93.3	3.6	-0.6

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	206	11.7	63.1	25.2	-13.6
生産に対する原材料在庫	44	2.3	86.4	11.4	-9.1
売上に対する製品在庫	101	6.9	89.1	4.0	3.0
採算（経常利益）	206	17.5	67.0	15.5	1.9
引き合	73	8.2	75.3	16.4	-8.2
生産設備	44	0.0	84.1	15.9	-15.9
従業員（含臨時・パート）	189	2.1	76.7	21.2	-19.0

上2表

- ↗：増加・上昇・好転・長期化・容易
- ：不変
- ↘：不足・低下・悪化・短期化・困難

左表

- ↗：良い・過剰・黒字・活発
- ：ふつう・適正・収支トントン・ふつう
- ↘：悪い・不足・赤字・低調